

えがお かがやく

令和7年度

南越前町立河野小学校

学校だより

第23号 令和7年7月4日

大きなかぶ(1年生)



国語の時間に「大きなかぶ」の学習をしました。この学習のめあては、音読や劇遊びをして物語を楽しく読みながら、内容をつかむことです。音読劇の発表会に向け、子どもたちは今まで自分たちで劇のしかたを考えて練習してきました。発表会では、台詞や動作をお話に合わせてしっかりと表現しようとがんばっていました。自分の役割を果たし音読劇が完成して、みんな笑顔いっぱいでした。

手話教室(5・6年生)



5・6年生は、総合的な学習の時間に、福祉をテーマに取り組んでいます。7/2(水)の手話教室では、講師の方に来ていただいて、手話体験を通して、聴覚障がいについての理解を深めました。5年生は昨年度、手話を体験していて、それを6年生に教え、5・6年生みんなが手話で自己紹介ができるように準備して臨みました。一人ひとりが講師の先生に手話で自己紹介をし、他の表現のしかたも教わりました。その後、郡の音楽会で発表した『Believe』の歌を手話で練習しました。最後の質問コーナーでは、知りたいと思っていたことについて積極的に尋ねていました。

- ・手話教室で、手話で自己しょうかいをしたり『ビリーブ』をしたりすることができてよかったです。
- ・住んでいる家の工夫では、お知らせランプなどがあり、設備にそんな便利なものがあるのかと思いました。最後に先生が教えてくれた行動することが大事ということを大事にしていきたいです。
- ・もし、耳が聞こえない人がこまっていたら、手話では話せなくても文字で対応しようと思いました。
- ・この学習で分かったことで、もし耳が聞こえない人がいたら、口を大きくして伝えたり、身ぶりをつけたりしてあげたいなと思いました。がんばって気づいてあげようと思いました。
- ・耳が聞こえない人が困っていて、目が見えるのなら、紙に書くかスマホで知らせることができることを学びました。もう一度、手話教室を行って詳しいことを知りたいです。
- ・知らないことがたくさん分かったから、分かったことを生活に生かそうと思いました。そして、他の人にも今日知ったことを伝えようと思いました。
- ・去年よりも手話が上達できてよかったです。耳が不自由な人は、とても大変なことが分かりました。

